

問題

Cauchy による、有名な Cauchy の不等式の証明は Lagrange の恒等式を用いたものです。Lagrange の恒等式とは、

$\alpha_1, \alpha_2, \dots, \alpha_n, \beta_1, \beta_2, \dots, \beta_n$ を任意の実数とするとき、

$$\left(\sum_{j=1}^n \alpha_j^2 \right) \left(\sum_{j=1}^n \beta_j^2 \right) - \left(\sum_{j=1}^n \alpha_j \beta_j \right)^2 = \sum_{1 \leq j < k \leq n} (\alpha_j \beta_k - \alpha_k \beta_j)^2$$

が成立する。というものです。

- (1) Lagrange の恒等式を示してください。
- (2) 積分バージョンを定式化し証明してください。
- (3) 良い一般化を見つけて定式化して証明してください。
- (4) オープション

次の恒等式は、初めて見た時、出題者は、不自然な妙な形だと思いましたが、面白いことに Lagrange の恒等式を導くときのテクニックが自然に、この場合にも使えます。そこでおまけです。

$$\left(\sum_{j=1}^n \alpha_j \right) \left(\sum_{j=1}^n \beta_j \right) - \left(\sum_{j=1}^n (\alpha_j + \beta_j) \right) \left(\sum_{j=1}^n \frac{\alpha_j \beta_j}{\alpha_j + \beta_j} \right) = \sum_{1 \leq j < k \leq n} \frac{(\alpha_j \beta_k - \alpha_k \beta_j)^2}{(\alpha_j + \beta_j)(\alpha_k + \beta_k)}$$

が任意の正の実数の組 $\alpha_1, \alpha_2, \dots, \alpha_n, \beta_1, \beta_2, \dots, \beta_n$ に対して成立する事を示してください。
この恒等式に対応する、積分の不等式を定式化して証明してください。